

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
FaxTel 〇五四-六四一-二二九
〇五四-六四四-六二二六
✉ ohba@enmyozan.org

平成29年 星除け祈祷受付開始

● 厄年除け（数え年）

・ 男 25才、42才、61才

・ 女 19才、33才、37才、61才

● 星除け 平成29年 星まわりの悪い人

● 八方塞がり除け 平成29年 一白水星の人

昭和11年、20年、29年、38年、47年

56年、平成2年、11年、20年生

● 家内安全 進学成就 身体健全 交通安全等

※ 切りは節分の2月3日です。

古いお札を納めましょう 2月3日まで

古いお札を納める箱を本堂前に設置してあります。また、ご遠方の方はご郵送頂ければお寺で納めます。

藤枝市の山本好子様、関根薫様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げ、法話箋作りの資とさせて頂きます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申し込みは寺まで。

新春写経会

平成29年、丁酉（ひのととり）、一白水星の新春を迎え、本年も宜しくお願い申し上げます。次第。

新年早々恐縮だが、最初に訂正のお詫び。気がつかれた方もいたと思うが、先月号で「僧侶になって約30年」と書いたが、正しくは「僧侶になって約40年」。計算能力の低下、注意不足はどうみても免れない。

さて、気を取り直して酉年の新年。「酉」の字は、徳利の形から来た象形文字。なのに何故「とり」と読む。さらに、さんずいが加わると酒の字。何故？

調べてみると、「よく分からない」ことが分かった。俗説では、酉の刻は午後5時から7時の2時間。酒は1日のうち、いつ飲む？それは「酉の刻」。こじつけの感多々である。閑話休題。

さて、1月の新たな企画、「新春写経会」のご案内をさせて頂く。正月は気持ち切り替わる時。その1月、お寺の静かな空間で、一心に写経、自らの心を見つめ直し、今年1年の新たな活力を得て頂きたい。

筆は持つことがない、習字は大の苦手、

と思う方もいらつしやると思う。

そこで、今回は入門編として「観音経のなぞり書き」から始める。具体的には写経紙の下に手本を置いてなぞる形式。

写経作法・説明は大場唯央が担当。筆の扱い、書き方は加藤知夏（日本習字教育財団の正師範）が担当。詳細は左記のように行うので、お友達等お誘いの上是非ご参加頂きたい。なお、足の不自由な方も参加できるようなイス席も用意。詳細お問い合わせはお気軽に大慶寺まで。

今年も、様々な行事を行うので、その都度ご案内をさせて頂く予定。

- 日時 1月22日(日) 14時～16時
- 参加費 2千円(材料費込)
- 内容 入門編「観音経のなぞり書き」
- 持ち物 筆ペン(あれば硯・小筆・文鎮・下敷き)
- 指導 写経作法・説明 大場唯央
書き方指導 加藤知夏
- 申込 1月15日まで

電話か左記メールまで
yuiou@enmyozan.org